



# 地域学校協働本部だより

令和6年11月6日発行  
港区立赤羽小学校 校長  
地域コーディネーター

NO.9  
中村 美奈子  
石川 啓子  
大鷲 淳子  
袖田 正子  
小林 砂織  
西之原 理恵子

地域学校協働本部担当

## 運動会・HALLOWEENの玄関装飾

秋が深まり木々が紅葉する時季を迎えました。赤羽小学校の運動会に向けて、学校内の装飾も運動会のものになりました。周りをよく見ると、かわいいミノムシも応援しています。玄関装飾はHALLOWEENに変わり、かわいいおばけや黒猫たちが楽しそうにしています。学校公開では「可愛いね」「楽しそう」と多くの声を頂きました。ご来校の際は、ぜひ装飾をご覧ください。



### 霜降の話(そうこうの話) 10月23日頃

秋も終わりに近づき、早朝に霜が降りをはじめめる時期、北海道や東北北部からは初霜のニュースも届きます。山間部では赤や黄色に葉が彩られます。

楓(かえで)や蔦(つた)、桜、銀杏(いちよう)などが紅葉・黄葉し、朝夕の気温が下がります。この日から立冬までに吹く寒い風を「木枯らし」と呼びます。

今年の木枯らし1号は、いつになるのでしょうか。



### ハロウィンのお話「トリック・オア・トリート」

11月1日が古代ケルト人のお正月、その前夜祭の10月31日をハロウィンといいます。英語で「Halloween」とつづりますが、これは諸聖人の日(All Hallows' Day)の前夜(All Hallows' Evening)が短縮されたものです。古代ケルトでは、日本のお盆と同様に、10月31日は死後の世界との扉が開き、ご先祖様の霊が家族に会いに現世へ戻って来る日と考えられていました。しかし、ご先祖様だけでなく、悪霊や悪さをする精霊なども一緒に現世に来てしまい、子どもをさらったり、人の魂を取ったりするともいわれ、仮面を被ったり化粧をしたり、魔除けの焚き火を焚いたりして、悪さをする悪霊や精霊を驚かせて追い払っていたとされています。この風習がもとになり、ハロウィンの日に仮装する文化が生まれました。

また、仮装する目的は悪霊の仲間だと思わせ、災いから身を守るためという説もあります。